

## 令和4年第10回菊池市教育委員会会議録

日時 令和4年10月24日（月）午後1時30分  
場所 キクロス大研修室  
出席者

教育長	音光寺 以 章
教育長職務代理者	生 田 博 隆
教育委員	森 智保美
教育委員	渡 邊 和 雄
教育委員	増 永 幸一郎
教育委員	城 聡 子
教育部長	村 田 義 喜
教育審議員	久 保 敦 嗣
学校教育課長	倉 原 桂 一
生涯学習課長	古 庄 和 彦
社会体育課長	宮 本 健
学校給食管理室長	富 田 信 幸
菊池市公民館副館長	吉 川 良 二
菊池市中央図書館長	安 永 秀 樹
学校教育課指導主事	西 野 浩 史
学校教育課指導主事	木 村 誠 希
学校教育課総務係長	岩 根 貴 史

17 / 17人

### 日 程

1. 開 会
2. 議事録承認
3. 教育長の報告
4. 報告案件  
報告第17号 菊池市内小中学校の不登校、いじめの状況（2022年9月末現在）について
5. その他
6. 教育委員会各課からの事務連絡等
  - ①行事予定について
  - ②次回の教育委員会議  
令和4年11月22日（火）13:30～ キクロス大研修室
  - ③その他

## 開会

音光寺教育長 では、皆さんおそろいですので、時間より早いですけど始めたいと思います。皆さん、御起立をお願いします。

ただいまから令和4年第10回菊池市教育委員会議を開会いたします。よろしくをお願いします。

それでは、会議次第に従い会議録の承認についてを議題とします。

教育委員会会議規則第14条第2項の規定により、令和4年第9回菊池市教育委員会の会議録に記載した事項について、異議はございませんでしょうか。

委員一同 異議なし

音光寺教育長 では、異議がありませんので、令和4年第9回菊池市教育委員会の会議録については、承認することに決定します。

次に、教育長の報告を議題とします。

私より報告させていただきます。

まず、1番目の動静についてです。

9月21日、熊本県道徳教育研究大会が楓の森小中学校でございまして、その来賓として出席しております。

23日、八女市で御旗祭りが行われています。これは、五條家の祭事ですが、それに参加しております。

26日、教育支援委員会を開催しました。

27日、市議会、予算決算常任委員会が行われました。

28日、市内教頭会議。

29日、泗水西小学校B訪問、熊本県の市町村教育長研修会がオンラインで行われております。

31日、市議会本会議が閉会になりました。

10月1日、県中体連陸上大会が行われております。

2日、菊池市民体育祭が市民グラウンド、七城グラウンド、泗水グラウンド、3か所で行われました。

4日、庁議。

6日、西米良村に私と教育部長と二人で訪問し、小学校、中学校を参観させていただきました。

7日、市内小中学校前期終業式、8日土曜日は熊本県人権子ども集会の予定でしたが、コロナ過への配慮のためオンデマンドという形に変更になりました。

11日、定例教育長会議。

13日、市内小中学校後期始業式。

14日、市内小中学校長会議を行っております。

17日、庁議、また本年度から実施しております図書館を使った調べ学習コンクールの審査を行っております。それから、人権教育主任研修会と地域学校協働

活動推進員・地域連携担当者全体研修会を七城公民館で行っております。

18日、泗水小学校B訪問。

19日、九州都市教育長協議会理事会・定期総会並びに研究会が21日まで行われました。

22日、熊本県人権教育研究大会に参加しております。

本日24日、菊池市教育委員会議が開催ということになっております。

では、2番目の連絡事項についてです。

はじめに、前期のまとめとしまして、児童生徒のすばらしい活躍が多く見られたということで、先生方の指導に感謝を伝えております。

まず、「あかるい」絵画コンクール、熊日賞を泗水東小学校3年生の草野さんが受賞しております。

また、県の中体連陸上大会1年生1,500メートルで、北中の渡邊君が優勝しております。代表200メートルでは、菊池南中学校3年の坂本君が2位、走り高跳びの男子で泗水中学校3年の東君が2位、同じく走り高跳びの女子で旭志中学校3年の坂本さんが5位に入賞しております。中体連等、県でも上位を行く成績を前期に修めたということは、非常にすばらしかったと思っております。

教職員への指導の徹底及び心身状況把握と配慮というところで、先生方の心身の健全育成について校長先生方にもう少し配慮をお願いしたいということ伝えております。

新型コロナウイルス感染症対策に係る熊本県のリスクレベルが1になりましたけれども、まだまだ感染者が減っていないというところで、レベル1ですけれども、感染対策はまだしっかり続けるように伝えております。

次に、管内教育長会議からですけれども、成尾所長から管理職選考の第2次審査についての結果、今年は女性の管理職受講者が昨年より減ったということで、次年度はさらに女性の管理職の受講者を増やしていただきたいということでした。

教職員の指導につきましても、先生方の心身面の心配が多々見られる中に、なかなか代替の先生が見つからないということで、学校での風通しのよい職場づくりをお願いしたいということでした。

坂本管理主事からは教職員の事故防止・不祥事防止について、県下で事故がやや増えているということをおっしゃっております。

加配については、昨年同様にしていくけれど、その成果を挙げていただきたいということでした。

条件附採用教職員につきまして、初任者の先生方の評価等について、また、半月の任用期間の方については採用が決定したということでした。

再任用につきましては、今の教職員の不足を鑑みて、本年度50%を目標にしていたけれども、次年度は70%でお願いしたいということです。退職される方の再任用をぜひお願いしたいということです。

期限が切れて失効した教職員の免許状の再交付手続が非常に簡素化されたので、失効している方は県に問合せをお願いしたいということでした。

笠指導課長からは、全国学力・学習状況調査の結果分析資料が県のホームページにアップされていますので、それを活用していただきたいということでした。

また、令和4年度の県学力・学習状況調査が12月に実施されますので、それに向けた取組を計画的にお願いしたいということでした。

管内の学校訪問、授業参観等の気づきにおきましては、いろんな取組をされていますけれども、授業においてはまだまだ教師主導が多いということで、子供たちが主体的に学ぶ授業改善をお願いしたいということをおっしゃっておいりました。

次に、市内小中学校校長会議での連絡事項です。

教職員の不祥事防止ということで、交通法規の遵守と交通事故防止の徹底ということで、先ほど坂本管理主事からもありましたとおり、事故等がありますので、事故防止の徹底をお願いしております。

また、セクハラ・パワハラ・体罰・飲酒等の不祥事防止も引き続き指導をお願いしております。

次に、教職員の欠員解消について、教員免許状を保有している教育支援員の先生方にぜひとも声かけをお願いしたいと伝えています。なかなか後任の臨採の先生が見つかりませんので、支援の先生方でもいいという方をお願いしたいと話しています。

事務職員も現在1名不足しておりますし、産前休に入られる事務職員もいらっしやいます。事務職員もなかなか臨採の先生と同じように見つかりませんので、校長先生からの声かけもお願いしております。

学力向上については、県学力学習状況調査への取組を計画的に行うこと、また市から2分の1補助しますので、英検の積極的な受検をお願いしたいと伝えています。3級合格者数を上げるための取り組みです。

西米良村の小中学校研究発表会が12月14日水曜日の午後から行われます。西米良村のICTは、宮崎県の先進校であり、モデルになるということでした。

先だって、部長と訪問した際に、ぜひ研究発表会に参加していただきたいということでありましたので、学校から希望者をつのり、マイクロバスで一緒に連れていくことにしております。

いじめ・不登校対策については、心の相談員の小学校への活用が非常に有効だったということですので、さらなる活用をお願いしております。また、専門機関との連携もさらに取り入れるように伝えております。

人権教育・啓発の充実については、「熊本県人権子ども集会」がオンラインで放映されます。あわせて県人教大会が土曜、日曜で行われましたので、その実践も日頃の指導に生かしていただきたいということを伝えております。

また、教職員のアンケート調査を秋休み中をお願いしました。市職員の人権意識に対するアンケート調査もありましたので、教職員も取らせていただきました。後日、その結果については報告いたしますけれども、その協力のお礼を伝えております。

その他としまして、11月27日にSDGsの発表会を予定しております。本年度は菊池北小・菊之池小・菊池南中・旭志中・七城中の5校に発表していただ

けるということです。送迎は教育委員会でバスを準備します。教職員の服務については出張でお願いしたいと伝えております。

また、教育委員の皆さまには後日御案内を差し上げたいと思っております。次に、今後の予定です。

10月25日、26日、27日は校長面接を行います。人事評価の面接です。

27日、菊池南中学校のB訪問。

29日、菊池あおぞら自然教室を本年度初めて行いますけれども、原田元教育長先生から竹とんぼや色々な自然を使った遊びを指導していただくことにしております。

10月31日から11月1日までは市町村教育委員会研究協議会が長崎市で行われます。詳しい日程は後ほど事務局より説明いたします。

2日、庁議。

3日、泗水コスモスマラソンが行われます。本年度は実施の方向で計画されております。

4日、菊池北小学校のB訪問。

8日、教育長・校長合同会議。

9日、B&G全国教育長会議が東京で行われます。翌日の10日は全国都市教育長理事会が同じく東京で行われますので出席いたします。

11日、隈府小学校の研究発表会、県中体連駅伝大会が行われます。

12日、部落解放第34回熊本県研究集会ですけれども、本年度はコロナ過への配慮のため、オンデマンドで開催されます。

13日、菊池市防災訓練が、本年度は旭志中学校で実施されます。

14日、菊池市読書感想画コンクール審査。

15日、泗水東小学校総合訪問。

16日、市内小中学校長会議。

17日、安心安全な菊池市の実現に向けた菊池市・菊池警察署連絡会議ということで、警察と市との会議が行われます。

18日、七城中学校研究発表会。

21日、菊之池小学校研究発表会。

22日、菊池市教育委員会議となっております。

以上、報告いたします。

ただいまの教育長報告について質疑はありませんでしょうか。

委員一同   なし

音光寺教育長   では、ないようですので、これで教育長の報告については終わります。

では次に、本日は議案の提出はありませんので、報告案件のほうに参りたいと思います。

では、報告第17号、菊池市内小中学校の不登校、いじめの状況の説明を事務局よりお願いします。

西野指導主事。

西野学校教育課指導主事 失礼いたします。それでは、お手元のいじめ、不登校報告案件資料を御覧ください。

報告資料1 ページを御覧ください。

1 段目のグラフに、不登校及び不登校傾向の状況を載せております。30日以上の不登校児童生徒は、9月末現在で小学校34名、中学校が70名、合計104名。10日以上30日未満欠席している不登校傾向の児童生徒につきましては、小学校が25名、中学校が33名、合計58名となっております。夏休み明けに少し増えている傾向があるというような状況でございます。

次に、9月のいじめ報告に関しましては、小学校、中学校ともに上がってきておりません。

続きまして、資料の2 ページを御覧ください。

上段のグラフは、適応指導教室の利用状況を示しております。9月末現在では8名の申請となっております。内訳につきましては、そこにあるとおりで、8月とは変化はございません。

2 段目のグラフからは、それぞれの適応教室の相談件数、相談内容について載せております。

まとめてあります3 ページのほうを御覧ください。

四つの適応教室の9月の相談件数が一番下グラフに示してありますが、教室ごとに見ますと菊池教室が29、七城教室は今不在ですのでゼロ、泗水教室が16、旭志教室が24で、合計69件の相談となっております。

この9月におきましては、いよいよ中学校3年生あたりは進路というところなどが迫ってきているという感覚になってくる時期でございます。中学校3年生の不安な気持ちとか学習へのサポート、そういったものが多くありました。また、夏休み明けの不登校状況からの生活リズム改善へのサポート等の支援を行っております。

報告によりますと、段階的に学校の別室に登校するようになってきたというような前向きな気持ちが見られる児童生徒もいるということでございます。

続きまして、資料4 ページから5 ページを御覧ください。

心の教室相談利用状況を中学校ごとに示しております。9月の利用状況ですが、菊池北中学校が18件、南中学校27件、七城中学校13件、旭志中学校9件、泗水中学校22件の合計89件となっております。

4 ページ、5 ページにそれぞれの中学校ごとと合計を載せております。

続きまして、6 ページを御覧いただきますと、先ほど教育長からもありましたが、心の教室相談員の小学校への派遣状況というところで本年度、試行的に行っておりますが、今月、9月につきましては相談が22件ありました。先月までは何校かがそのようなふうにご利用してというようなことだったんですけども、この9月は5名の相談員全てが各小学校に派遣されて相談支援を行っております。先ほど報告しましたとおり不登校の増加もありますし、小学校段階での相談ニーズ

というのは、やはり非常に高まってきている状況でございます。

先日、相談員の会議を行ったんですけれども、相談員からも小学校の状況を把握することができて、兄弟関係の様子等も分かるというような御報告がありました。

また、派遣をしたことによって、小学校と中学校の養護教諭、そこに相談員を介することによって情報共有する機会ができたというような話もありまして、相談員を介することによる小中連携といったものも見られるようになってきているところでございます。

次に、2段目のグラフです。菊池市のスクールソーシャルワーカーの相談件数となります。9月は82件の相談でした。こちらにつきましては、やはり要因が複雑になってきておりますので、家庭状況等に関する相談のほうが21件と、最も多い状況です。毎日、密に学校と連絡を取りながら、スクールソーシャルワーカーが支援に当たっております。

最後に、学校支援コーディネーターの相談対応件数は92件となっております。先ほども申しましたが、夏休み明けということもありましたので、生活のリズムから来る不登校に関する相談がとても多く上がっております。適応教室や学校と常に情報共有を行いながら、個別対応を今行っているところでございます。

報告は以上となります。

音光寺教育長 では、ただいまの報告について質疑及び御意見はございませんでしょうか。

西田指導主事、この前、改善事例が幾つか報告されたと思うけれども、一つでもいいですので、改善事例を教えてくださいと思います。

西野学校教育課指導主事 それでは、先日、9月下旬に不登校対策研修会というのがありました。その中で、本当に不登校数自体は、数字が上がってはきているんですが、各学校が非常に小まめに連絡を取り、連携を取りながら改善した事例というものがございましたので、報告をしていただいているところです。その中で3校に報告いただいたんですけれども、その中でまず一つは、休み始めた段階の早期に教育委員会のSSWに連絡をいただいて、早めに、不登校になってしまう前にケース会議等を行ったと。それによって、一旦不登校にはなったんですけども、そこからつながっていたところで相談がスムーズに進んで、本人が登校復帰というようなことにつながったという事例がございました。

また、実際、不登校になってしまいますと、子供たちがなかなか学校に出てこられない状況というのがございます。そういった中で、先ほど言いました専門機関との連携をどう取っていくかということが問題になるのでございますが、一例として、ICTを使った相談ということで、スクールカウンセラーがタブレットを利用して、家とスクールカウンセラーをつないで、オンラインによるカウンセリングといたしますか、顔合わせを行ったと。そこで、相談内容というか堅苦しいものじゃないんだなと児童生徒のほうが感じることもできたので、後日、スクールカウンセラーと対面でのカウンセリングを受けることができた。それによ

って、気持ちが軽くなって改善状況にあると、このような改善事例が報告されました。

まだまだ一つ一つを丁寧に対応していかないと一気に改善するということはないんですが、それぞれの学校がこのように工夫しながら取り組んでいただいているところです。

以上です。

音光寺教育長 ありがとうございます。今のも全ての小中学校で情報を共有して、新たな取組をしていただくようお願いしてるところです。

では、次に、その他に入ります。

事務局のほうから何かありますか。

事務局 その他はございません。

音光寺教育長 では、ないようですので、本日の委員会はこれで閉会いたします。

皆さん、御起立をお願いします。お疲れさまでした。

— 了 —